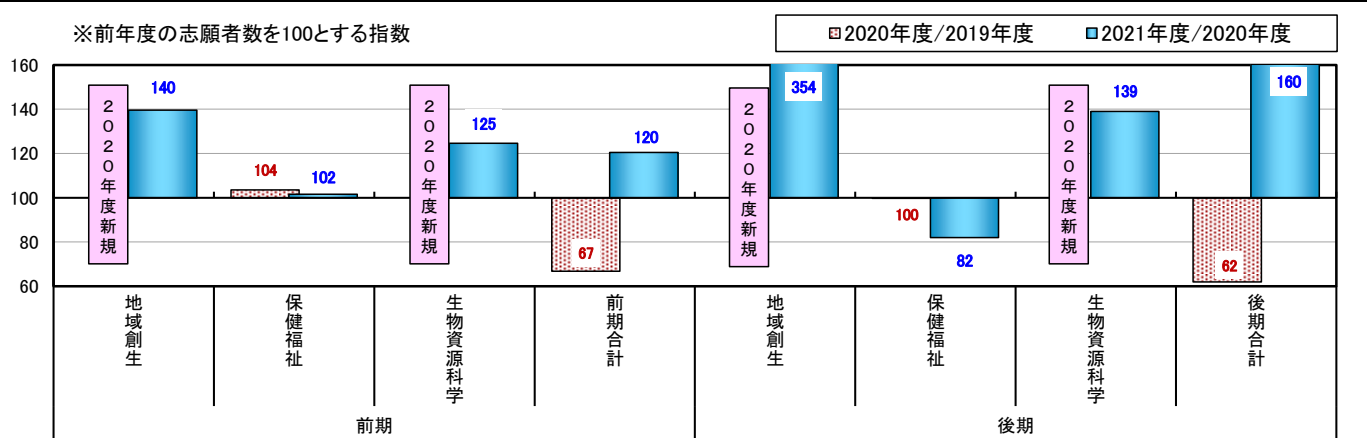


# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

**県立広島大：前年度大幅減少の反動で前期は大幅増加、後期は激増 前期：+138人 後期：+492人**



**入試変更点**

選抜方法：全学部…「県立広島大学・地域への志向性」を任意提出させ、点数化して評価

地域創生(地域創生/健康科学)〈後期〉…募集廃止

保健福祉(保健福祉-コース選択)〈前期〉…新規募集(募集人員6人)

学科改組：保健福祉(看護、理学療法、作業療法、コミュニケーション障害、人間福祉)  
→(保健福祉/看護、保健福祉/理学療法、保健福祉/作業療法、保健福祉/コミュニケーション障害、保健福祉/人間福祉)  
※保健福祉学科を新たに設け、既存の学科をコースに改組

募集人員：地域創生(地域創生/健康科学)〈前期〉…17人→20人  
保健福祉(看護)〈後期〉8人→保健福祉(保健福祉/看護)〈後期〉6人  
(理学療法)〈後期〉4人→(保健福祉/理学療法)〈後期〉3人  
(作業療法)〈後期〉4人→(保健福祉/作業療法)〈後期〉3人  
(コミュニケーション障害)〈後期〉4人→(保健福祉/コミュニケーション障害)〈後期〉3人  
(人間福祉)〈後期〉5人→(保健福祉/人間福祉)〈後期〉4人

個別試験：保健福祉(コミュニケーション障害)〈前期〉…論+面→面  
(人間福祉)〈前期・後期〉…論+面→面+総合問題

**COMMENT** ※ ( ) 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度大幅減少の反動により138人(120)の大幅増加で3年ぶりに増加。後期は前年度大幅減少の反動により492人(160)の激増で5年ぶりに増加。

〈前期日程〉

- 地域創生(140)**は、経営情報、人間文化から改組後2年目だが、増加率40%の大幅増加。経営情報と人間文化を合わせた志願倍率との比較では2017年度以来の3倍を上回った。コース・志向枠別では、4コース・志向枠が全て増加。地域(地域産業/応用情報志向枠)(212)は倍増以上、それ以外の3コース・志向枠は、いずれも大幅増加。
- 保健福祉(102)**は学科改組したが、4人増加の微増で、3年連続増加。コース別で前年度の学科別と比較すると、(保健福祉/看護)(142)は前年度減少率40%近い大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(保健福祉/人間福祉)(59)、(保健/作業療法)(80)、(保健/理学療法)(84)は、いずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。新設の(保健福祉-コース選択)は志願倍率3.5倍で、学部全体の志願倍率2.6倍を上回った。
- 生物資源科学(125)**は、生命環境から改組後2年目だが、大幅増加。学科・コース別では、(地域資源開発)(242)は2.5倍近い大幅増加。一方で、(生命環境/生命科学)(91)は減少、(生命環境/環境科学)(93)はやや減少。

〈後期日程〉

- 地域創生(354)**は、経営情報、人間文化から改組後2年目で、(地域創生/健康科学)〈後期〉が廃止された。残った(地域創生-経過選択)(487)は、募集単位の比較では5倍近い大幅増加、志願倍率も4.5倍→22.0倍に大幅アップ。
- 学科改組した**保健福祉(82)**は、大幅減少だが、募集人員(前年度募集人員対比指数76)が減少したことで、逆に志願倍率は13.1倍→14.2倍にアップ。コース別で前年度の学科別と比較すると、(保健福祉/看護)(99)は11.9倍→15.7倍、(保健福祉/コミュニケーション障害)(100)は11.0倍→14.7倍、(保健福祉/作業療法)(84)は16.0倍→18.0倍、(保健福祉/理学療法)(76)は13.8倍→14.0倍の4コースは競争が激化。(保健福祉/人間福祉)(50)は14.0倍→8.8倍と唯一競争が緩和。
- 生物資源科学(139)**は、生命環境学部から改組後2年目で、(生命環境-経過選択)が唯一の募集区分だが大幅増加で、志願倍率は16.0倍→22.3倍にアップ。